

広報

活力あふれ

ひとが輝く

安らぎのまち

伊万里



2017
(平成29年)

3月
March

No.757 Contents 目次

特集 伊万里を元気に！	2
インフォメーション・伊万里	6
教育と文化	13
みんなの広場	14
ほがらかページ	16
スポーツ	18
くらしのチャンネル	20
食のまちづくりフォーラム	24

今月のポイント

2月4日、お笑い芸人のキンタロー。さんが市観光大使に就任しました。市役所で行われた委嘱式には、市民など約300人が来場。キンタロー。さんが得意のものまねやダンスを披露すると、会場は笑いや声援に包まれ、終始和やかなムードでの式となりました。【11ページに関連記事を掲載】

この冊子は1部当たり約30円で作成しています（人件費など間接経費は含まれていません）。また、企業広告による掲載料は、広報伊万里の作成費の貴重な財源となっています。

特集

伊万里を元気に!!

— 私たちのまちづくり —



平成 28 年 9 月 17 日に大川内山で開催されたまちづくりイベント『地酒小路』の様子



私が取材を
担当しました

市民リポーター紹介

松本 すみえ さん

◆プロフィール

伊万里市民まちづくり推進会議委員。地元では、『楠久津こども太鼓』の代表をしています。少子化により伝統が途絶えようとしていたこども太鼓を復活。よさこいも取り入れ、地元の祭りなどで披露しています。各地のまちづくり活動に興味があります。

少子・高齢化社会を迎え、人口の減少が問題となっている日本。特に地方では、都市部への人口流出が進み、このままでは地域のコミュニティを維持できなくなるかもしれない。また、ライフスタイルの多様化とともに、住民のニーズも多様化。行政だけではなく新たなまちづくりの担い手が必要になっていきます。

このような中、市内には多くの市民活動団体があり、さまざまな視点でまちづくりに取り組んでいます。今回の特集では、伊万里市民まちづくり推進会議委員の松本すみえさんが、市内の2つの団体が行っているまちづくりの活動をリポートします。

自分たちのまちをより良くするヒントがあるかもしれない。自分にできることは何か、皆さんも一緒に考えてみましょう。

● 問合先

まちづくり課まちづくり推進係 (☎2114)



魅力あるまちをつくり
そこに人を呼び込む

人口が減ると、経済活動が低下したり、地域コミュニティの維持が困難になったりするなど、さまざまな問題が起きます。そうならないようにするためには、どうすればいいのでしょうか。そのヒントを探るための一つの取材先に選んだのは、若者ならではの視点と自由な発想力で、魅力あるイベントを次々に企画し、交流人口（左図参照）の拡大を図っている団体です。

『定住人口』と『交流人口』

定住人口とは、その地域に住んでいる人のこと。一般的に『人口』というと、定住人口のことをいいます。一方、**交流人口**とは、その地域を訪れる人、観光客などのことをいいます。全国的に人口減少が進む中で定住人口を増やすことは簡単ではありません。このため、交流人口を増やすことで地域の活性化につなげることが、重要になっています。

若者の視点でさまざまなイベントを企画

GOLD U-35 (ゴールド アンダー 35)



代表 森永一紀さん

長崎県松浦市出身。市内のバーの店長、カフェのオーナー。人とのつながりがきっかけで、まちおこしグループ『GOLD U-35』を立ち上げる。活動のモットーは「わくわくを伝える」。



↑まちづくりに対する森永さん（右）の熱い想いを感じました



↑サンタクロースからプレゼントをもらい、子どもたちは大喜び



↑4枚つづりのチケットを買って参加店を食べ歩く回遊型の飲食イベント『伊万里GYUGYUバル』



↑筋肉隆々のメンバーが掛け声とともにかき氷を削る『筋肉かき氷』

■ 結成のきっかけ

◆松本 結成のきっかけは何ですか。

◆森永 店長として働くバーにお客さんとして来ていた、吉武広樹さん(※)との出会いがきっかけです。パリや東京など世界を舞台に活躍する吉武さんに刺激を受け、「この伊万里で自分たちも何か熱いことができるはず」という思いが強くなり、仲間を声をかけて始めました。

■ 活動内容

◆松本 どんな活動をしているんですか。

◆森永 伊万里にぎわいマルシェに出店したことが始まりの『筋肉かき氷』や、『伊万里GYUGYUバル』への参加、サンタクロースの格好をして子どもたちにプレゼントを配るイベントなど、地域を盛り上げるためのさまざまな活動をしています。去年の9月に開催した、『地酒小路』は、大川内山に人を呼び込み、知ってもらうためのイベントです。今年7月の大川内山ボシ灯ろうまつりに併せての開催を予定しています。

◆松本 私の住む地区の祭りにも、『筋肉かき氷』が来て

くれて大盛況でした。これらのすばらしい活動を多くの人に知ってほしいですね。

■ 活動の中で変わる意識

◆森永 私自身もさまざまな活動を通して、伊万里の魅力に改めて気付きました。すばらしい歴史や伝統があり、熱い人もたくさんいる。意識が変わると見えてくるものも違うんです。一人一人の意識を変えることが、まちおこしにつながっていくと思っています。

■ 今後の展開

◆松本 今後はどのようなことをやりたいですか。

◆森永 これまでの活動で、同世代の横のつながりはかなり広がりました。カフェを開いたきっかけでもありますが、今後は縦のつながり、もっと幅広い世代が集えたり参加できるようにものを作りたいですね。また、市や県の枠にとらわれず、色々な地域を巻き込んで、面白いことをやっていきたいと思っています。

(※) 吉武広樹さん：山代町出身。国内最大級の料理コンペティションでグランプリを獲得した料理人。市観光大使も務める。



『区』の活動から 広がる取り組み

GOLD U・35の取材を通して、まちづくりには自分の住む地域を見つめ直し、魅力を再確認していくことが大切だと学びました。その地域に住むことに誇りと愛着を持つことが原動力になるのです。

二つ目の取材先に選んだのは、伊万里の市街地からは離れた地域で取り組んでいる団体です。自分たちの住む地区のために始まった取り組みから、さらに広がりを見せ始めています。

町・地区ごとに違う『人口減少率』

市の平成22年と平成27年の人口を比較した人口減少率は-2.7%（各年10月1日現在）。町・地区によっても差があります。

【町・地区別人口減少率】伊万里地区-5.1%、牧島地区-4.4%、大坪地区+1.6%、立花地区+9.3%、大川内町-8.1%、黒川町-0.9%、波多津町-8.9%、南波多町-9.6%、大川町-9.8%、松浦町-5.6%、二里町-1.0%、東山代町-3.7%、山代町-8.7%



↑和やかな雰囲気の中で練習が行われていました

地元の伝統をつくり、広げ、つないでいく

ほろぎょう 板木法行太鼓保存会

代表 前田 和宏 さん

地区の人口が減っていくなか、太鼓の練習を通じて、世代を超えたつながりをつくることで地域を活性化しようと平成25年12月に会を発足。現在は12人のメンバーで活動を行っている。



↑波多津東小学校『ふれあいフェスタ』



↑法行城例大祭での『法行太鼓』



↑波多津町みなと祭り

■ 結成のきっかけ

◆松本 結成のきっかけは何ですか。

◆前田 地区に元々太鼓の伝統があった訳ではありませんが、板木にはかつて法行城という城がありました。その城主の末孫にあたる、坂本勇二郎さん（大阪府豊中市）から、区に法行太鼓4基の寄贈を受けました。区の役員会で活用方法を検討するなかで、太鼓を通じて地域のつながりが一層強くなればと思いついたのがきっかけです。

◆松本 しつかりと区のために活用するということがすばらしいですね。

■ 活動内容

◆松本 どんな活動をしているんですか。

◆前田 小学生から40代までの12人で、毎週2回集まって練習をしています。法行城跡で毎年8月に行われる例大祭が主な披露の場ですが、今では波多津町みなと祭りや町外のさまざまなお祭りに参加し、年間10回ほど演奏しています。

■ 課題

◆松本 私も、子ども太鼓の代表をしています。子ども

もが減り、保護者など大人の理解を得る大変さも感じます。また、取り組みを次世代につなげていくことが一番の課題だと思っていますが、どうですか。

◆前田 確かに人集めや、周りの理解を得ることに對しては苦労しました。続ける難しさも感じています。しかし、今子どもたちは楽しんでやってくれていますし、大人になっても忘れないと思うんです。地元に残る、地元に戻ってくるきっかけの一つに太鼓がなればという思いです。

■ 今後の展開

◆松本 今後はどのようなことをやりたいですか。

◆前田 地区内外のイベントに積極的に参加したいと思っています。「周辺がある」から中心がある」という思いで、波多津町のような周辺地域から伊万里を盛り上げたい。市街地でのイベントなどで、各町の芸能などを披露するような場を作ってもらいたいですね。

◆松本 いいアイデアだと思います。市街地に人が集まるし、各町のPRにもなり、相乗効果がありますね。



私たちがの手で
私たちのまちをつくる

二つの団体の取り組みから感じたことは、「自分たちの住むまちは、自分たちの手で活性化しなければならぬ」という強い思い。その思いがあれば、あなたにもできることがきつとあるはずだ。

例えば、市内各地で開催されているイベントや地域の行事に参加することも、立派なまちづくり。参加者あつてのイベントです。市内に住む私たちが参加して盛り上げていくことは、大きな力になります。そして、参加していくなかで、自分たちの住む地域の魅力を再認識するとともに、抱える問題点や、足りないものに気付くことができるかもしれません。まちづくりの担い手は、私たち一人一人なのです。



↑波多津ウォーク (今年は3月26日(日)に開催予定)

— サポートします あなたの『まちづくり』 —



←伊万里子育て支援ネットワーク育ピースが発行した子育て情報誌『子+imari』(21世紀市民ゆめづくり計画支援事業)



→伊万里地区まちづくり運営協議会が実施した名所・旧跡などを巡る『伊万里地区ウォーキング大会』(地域の元気推進事業)

市では、さまざまな支援メニューで皆さんのまちづくり活動を応援しています。各町・地区の公民館を中心に取り組まれている『地域の元気推進事業』、各団体などのまちづくり活動に対する『21世紀市民ゆめづくり計画支援事業』、人口減少地域を元気にする『さが未来スイッチ交付金事業』のほか、国の交付金などを活用できる場合があります。地域や各種団体、個人がそれぞれに合った支援制度を活用できますので、気軽に相談してください。人や地域の熱い思いをどれだけ汲みとって考えられるか、皆さんの役に立てるよう心がけています。まちづくりの第一歩は、まず、自分の住む町を好きになることではないかと思えます。皆さんの住む伊万里には、すてきな人がたくさんいて、すてきな風景がたくさんあるはずだ。さあ、その一歩を踏み出してみませんか。



まちづくり課
まちづくり推進係
係長 末吉 建作

ーリポートを終えてー

今回、市民リポーターとして伊万里のために、また、まちおこしのために活動されている二つの団体のすばらしい活動内容を知ることができました。どちらの団体も、始まりは「伊万里のまちをにぎわいのあるまちにしたい」、「自分たちの住む地区を活性化したい」という同じ志を持つ人が一つに集まったことです。そして、それぞれの活動を通して「伊万里に住む人たちに

ずです。そして私たちも、伊万里の人が発信している情報に耳を傾け、自分からそこに集まっていけることが大切なのではないでしょうか。

もつと伊万里を知ってもらいたい」という思いで一生懸命活動されていきました。

伊万里をもう一度見つめ直がらずに、さまざまな活動に参加して自分の地区でできることを周りの人と行動して伊万里をすばらしいまちにしていきたいと思えます。

私自身、友達と「伊万里は何もないね」、「伊万里はどうなるんだろう」と話をしていました。しかし、何もないのではなく、ただ私たちが知らないだけなのだ、反省しました。

「二人の手」という私の好きな歌があります。その歌詞に、「二人の小さな手 何もできないけど、それでもみんなの手と手をあわせれば何ができる、一人の小さな声 何も言えないけど、それでもみんなの声が集まれば何か言える」という部分があります。伊万里に住む私たちには、このことが大切なのではないかと思えました。

今回取材した二つの団体は、それぞれが『年代を超えた集まりの場所』を目標に頑張っているような気がしました。さまざまな世代が集い、交流を深めていくことで、その思いを自然と次の世代へとつなげていくことができるは



市民リポーター
松本 すみえ さん

春 **＊ 3月25日(土)～4月2日(日) 特別開庁 ＊**
 です! 入学・就職・転勤のシーズンになりました

異動の手続きはお早めに

● 問合せ 市民課窓口係 (☎☎2143)

3～4月は、入学や就職、転勤などによる引っ越しのシーズンで、窓口が大変混み合います。通常の業務時間内に来庁できない人は、延長窓口や休日窓口を利用することができます。住民票の異動手続き(転入・転居など)は、異動した日から14日以内に届け出が必要です。



住所変更の手続き(転入・転出・転居)に必要なもの

- ① 印鑑(認印)
 - ② マイナンバー(個人番号)の通知カード、マイナンバーカード、国民健康保険被保険者証、介護保険被保険者証、後期高齢者医療被保険者証など(該当する人のみ)
 - ③ 届出人の本人確認書類(運転免許証やパスポートなど写真付きは1点、保険証や年金証書、預金通帳などは2点)
- ※ 転入届には、転出証明書(前住所地交付)が必要です。
 ※ 戸籍や住民票の交付申請のときも、『本人確認』が必要です。

◆ 平日延長日時

3月27日(月)～31日(金) 午後7時まで

◆ 取扱業務

- ▷ 市民課
 - 窓口業務全般
 - 返戻されたマイナンバー(個人番号)の通知カードの交付
 - マイナンバーカードの交付【要予約】
 - 旅券発給事務(申請・交付)
- ▷ 税務課 税務諸証明の交付

**期間中平日の窓口業務を
午後7時まで延長します**

期間中3月末と4月初めの 土曜・日曜日を開庁します

◆ 土曜・日曜日開庁日時

3月25日(土)・26日(日)、4月1日(土)・2日(日)
 いずれも午後1時から5時まで

◆ 取扱業務

- ▷ 市民課
 - 窓口業務全般
 - 返戻されたマイナンバー(個人番号)の通知カードの交付
 - マイナンバーカードの交付【要予約】
 - 旅券発給事務(交付のみ)
- ▷ 税務課 税務諸証明の交付

平日延長・休日窓口では取り扱いできない業務

- ▷ 住民基本台帳ネットワークサービスに関連する次の業務
 - 住民票の広域交付
 - 電子証明書の交付
 - 住民基本台帳カードやマイナンバーカードを利用した転入・転出届の受付
- ▷ 届け出の内容によっては、ほかの事業所や官公庁などが休みのために問い合わせができず、対応できない場合があります。

混雑を避けるポイント

① 伊万里市から他市町村へ転出する場合は、引っ越し日の2週間程度前から手続きができます。
 ※ 引っ越しが決まったら早めに手続きをしましょう。

② 年度末から年度始めまでは、1年で最も混雑する(通常の3、4倍)時期です。特に月曜日など休日明けの日は、大変混雑します。

※ 比較的混雑の少ない、朝早い時間帯(午前8時30分～10時)の利用をお勧めします。



運転免許証自主返納者

いまりんバス 1年間

無料

● 問合せ先

- ▷ 運転免許証自主返納・運転経歴証明書の申請 伊万里警察署 (☎23144)
- ▷ 運転免許証自主返納促進の取り組み 総務課行政係 (☎2123)
- ▷ いまりんバス まちづくり課公共交通対策係 (☎2114)

運転免許証を保有する高齢者の増加に伴い、高齢者が第一当事者（主たる原因者）となる交通事故が増加しています。市は、これらの事故を減らす取り組みの一つとして、高齢者の自主的な運転免許証返納を促進するため、いまりんバスを期限付きで無料にします。

■ 対象

伊万里市民で、有効期間中の自動車運転免許証を自主的に返納し、平成 29 年 4 月 1 日以降に運転経歴証明書の交付を受けた人
※ 運転経歴証明書の交付は申請が必要です。

■ 支援内容

運転経歴証明書の交付を受けた日から 1 年間、いまりんバス全路線の乗車賃が無料
※ いまりんバス下車時に運転経歴証明書を提示してください。

4月診療分から

小・中学生の子ども医療費助成が現物給付になります

● 問合せ先 福祉課子育て支援係 (☎2310)

小・中学生の子ども医療費助成を、平成 29 年 4 月診療分から、償還払い方式から現物給付方式に変更します。また、これに伴い、自己（保護者）負担額も変更します。

■ 対象 小・中学生の子ども医療費

■ 変更時期 平成 29 年 4 月診療分から

■ 変更内容（県内の医療機関などを受診した場合に限る）

償還払い方式を『現物給付方式』に変更

※ 医療機関などでの支払い時に医療費を助成します。次の自己負担額を支払ってください。

■ 自己（保護者）負担額



自己負担額	平成 29 年 3 月診療分まで	平成 29 年 4 月診療分から
助成方法	償還払い方式	現物給付方式
入院費	1 か月・1 医療機関 1,000 円まで	(変更無し)
通院（外来）費	1 か月・1 医療機関 2 回まで 500 円	1 か月・1 医療機関 1,000 円まで
調剤（薬局）費	自己負担なし	(変更無し)

※ 小学校就学前の児童の自己負担額は変更ありません。

※ 学校内でのけがなど、スポーツ振興センター給付制度の対象となるものは該当しません。

※ 県外の医療機関などを受診した場合は、これまでと同様に償還払いとなります。

■ 現物給付での助成を受けるには

受給資格登録の申請が必要です。該当する人には、2 月に市から申請手続きの案内をしています（※）。

早めに申請してください。

（※）平成 14 年 4 月 2 日～平成 23 年 4 月 1 日生まれの子どもを持つ保護者

『経済対策臨時福祉給付金』を支給します

● 問合せ 福祉課福祉総務係 (☎ 23 1 1 3 3)

平成 26 年 4 月の消費税率引き上げに伴い、所得の少ない人への影響を緩和するため、『経済対策臨時福祉給付金』を支給します。給付金を受け取るためには、期限内に申請が必要です。

■支給対象者

平成 28 年度分の市民税（均等割）が課税されていない人（次のいずれかに該当する場合は除く）

- ・市民税が課税されている人に扶養されている人
- ・生活保護の受給者など

※ 平成 28 年度臨時福祉給付金の支給対象者と同じです。

※ 対象者には、2 月末に申請書を郵送しています。

■支給額

1 人につき 15,000 円（支給は 1 回のみ）

■申請方法（次のいずれか）

▷ 窓 口 市役所（1 階）市民ロビー

※ 5 月以降は、福祉課で受け付けます。

▷ 郵 送 〒 848-8501 伊万里市立花町 1355 番地 1
伊万里市役所福祉課

■受付期間 3 月 1 日（水）～6 月 1 日（木）

※ 郵送の場合は必着

■給付金に関する問合せ

福祉課福祉総務係 給付金専用ダイヤル
23-1133

平成 29 年度 地籍調査事業

波多津町（木場・筒井・井野尾・田代・板木・中山・辻の各一部）を調査します

● 問合せ 地籍調査課資料係 (☎ 22 1 9 2)

土地所有者の皆さんへ

決められた期間内に地籍調査事業を正確に進めるためには、**土地所有者の相互の信頼と合意**によって境界を決定してもらう必要があります。

境界確認（一筆地調査）の際は、**現地で立ち会いをお願いすること**になりますので、土地所有者の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

【基準点保護のお願い】

境界の確認後に実施する測量（業者委託）では、土地に立ち入り、国土調査多角点杭の設置などを行います。この杭や鉄は、一筆ごとの土地を測量するための基準点となるものですが、地籍調査終了後も、土地を分筆したり、境界を復元したりするときに必要です。工事や開発などで移設しなければならぬ場合は、事前に地籍調査課に連絡してください。

調査開始から完了まで 約 3 年かかります

《平成 29 年度＝1 年目》

一筆地調査と測量

《平成 30 年度＝2 年目》

一筆ごとの調査結果のまとめ、閲覧

《平成 31 年度＝3 年目》

国の承認、県の認証、法務局へ送付

地籍調査で **できること**



土地の分筆や合筆、地目変更、地番変更など
※ 一定の要件を満たしている場合に限りです。

地籍調査では **できないこと**



登記名義人の変更（相続・売買・贈与・交換などによる所有権移転登記）

【平成 29 年度の予定】

- ▷ 4 月下旬～
対象者に個人別台帳送付
- ▷ 5 月中旬～
地元説明会
- ▷ 7 月上旬～
境界確認（一筆地調査）

平成 29 年度調査対象地区（小字一覧）【予定】

▷ 波多津町

- 木 場 …… 築立、加倉、口ノ平、白岩、稗木場、深谷、守戸
- 筒 井 …… 上戸平、境松、加倉谷、佛石
- 井野尾 …… 大坂、黒田代、木場山、鳥居原、前田
- 田 代 …… 作道、トウゲン、上原
- 板 木 …… 上ノ木場、梅ノ木谷、長田、堀除ケ
- 中 山 …… 蔭谷、久保田、立石、東木場、東谷、巻戸、早椎
- 辻 …… 池ノ本、鞘ノ谷、浦山、角串、弁賀、鷺田

お知らせします 行政評価

～『成果重視』の行政運営をめざして～

● 問合せ先 企画政策課行財政改革推進室 (☎☎2124)

行政評価を実施しています

行政評価とは、市が提供する行政サービスについて『市が行う必要があるのか』、『どのような成果があったのか』、『かかったコストは妥当か』などの観点から自己評価を行い、そこで明らかになった課題を次の事業活動に活かしていくという行政経営の手法です。

これは、市民サービスの向上と効率的な行政運営をめざすための取り組みであり、市では第5次総合計画後期計画の施策体系に基づき、施策・事業群・事務事業の3階層でそれぞれ評価しています。

全 40 施策を評価

平成 28 年度は、27 年度に実施したすべての施策や事務事業について評価を行いました。また、一部の評価

表については、有識者や市民代表で構成する市行政評価委員会による第三者評価を行い、市民感覚で客観性のある評価に努めました。

施策の成果について

行政評価は、行政サービスの効果を『成果指標』で測ります。成果指標とは、施策や事務事業の達成目標を数値化したもので、その実績をみれば行政サービスがどのくらい機能したのかが知ることができます。

平成 28 年度の評価では、多くの施策で目標を達成することができました。今回はその中から5つの施策を抜粋し、成果指標とその達成度を紹介します【表】。

※詳しい内容は、市民情報コーナー（市役所1階）や市民図書館のほか、市ホームページでも紹介しています。

【表】平成 28 年度行政評価を行った事務事業の成果指標と達成度（抜粋）

まちづくりの 基本方向	施策名称	成果指標	めざす 方向性	平成 27 年度 計 画 値	平成 27 年度 実 績 値	達成度
安心で健やかな 暮らしづくり	高齢者支援の充実	居宅介護サービス受給者の割合(65歳以上)	増加	13.5%	13.9%	103.0% ◎
創造的で心豊かな ひとづくり	スポーツの振興	スポーツ施設数	増加	36 施設	36 施設	100.0% ◎
活気あふれる 産業づくり	農業の振興	農畜産物の販売額	増加	90 億 5000 万円	90 億 4600 万円	99.9% △
安全で快適な 地域づくり	上水道の整備	水道管路の老朽化率	減少	15.0%	13.9%	107.9% ◎
自立と協働の まちづくり	適正な情報公開と 広報広聴の充実	情報公開・広報広聴に関する市民満足度	増加	65.0%	44.3%	68.2% ✕

◎：達成度 100% 以上 △：達成度 80～99.9% ✕：達成度 80% 未満

特別障害者手当と 障害児福祉手当について

市では、次の手当の申請を随時受け付けています。支給を受けるには、一定の要件と所得制限があります。

▶ 特別障害者手当

20歳以上の障害者で、心身に著しい重度の障害があるために、日常生活において常時、特別の在宅介護を必要とする人（施設入所者などは除く）

▶ 障害児福祉手当

20歳未満の障害児で、心身に重度の障害があるために、日常生活において常時、在宅介護を必要とする人（施設入所児などは除く）

■ 手当額（平成 29 年度）

項目	支給額（月額）
特別障害者手当	26,810 円
障害児福祉手当	14,580 円

● 問合せ先 福祉課社会福祉係 (☎☎2156)

コミュニティ活動を推進
立川区屋外放送設備を整備

大川町立川区が宝くじ助成金を活用して整備を進めていた屋外放送設備の整備が1月に完了しました。これにより、災害発生時や緊急時に的確な情報伝達が可能となり、地域住民の安全確保や、コミュニティ活動が活性化することが期待されます。

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの収入を財源として、住民の自主的なコミュニティ活動を推進するた



↑ 整備された屋外放送設備（一式）

めに必要な設備の整備に対し、補助金を交付しています。



大連市友好交流 30周年記念

アカシア薫るロマン都市『大連之旅』

参加者募集

市では、大連市との友好交流 30 周年を記念して、市民訪問団を派遣します。30 周年記念イベントや、これまでの公務研修生たちとの交流のほか、一般の観光ツアーでは体験できない文化交流もあります。この機会に、あなたもぜひ訪問団員として参加してみませんか。

● 日程

①大連コース

5月20日(土)～23日(火)〔3泊4日〕

②大連・西安コース

5月20日(土)～24日(水)〔4泊5日〕

● 行程 右【表】のとおり

● 参加料 (1人分〔2人1室〕)

①大連コース 41,000円

②大連・西安コース 78,000円

※ 別途、燃油サーチャージなどが必要です。

● 募集期間 3月10日(金)～4月19日(水)

● 応募方法 旅行会社に電話またはファックス

※ チラシ(応募用紙)は、市役所および各町公民館にあります。

● 募集人数 50人(①・②コース合わせて)

● 旅行の応募・問合せ

株式会社西日本日中旅行社

(☎ 092-283-4339)

(FAX) 092-283-8990

● 交流事業の問合せ

国際戦略室 (☎☎7046)

【表】コース別行程

	5月	①大連コース	②大連・西安コース
1日目	20日(土)	11:00 伊万里発 15:10 福岡⇒大連 16:10 大連着 【夕食】中華ビッフェ	06:30 伊万里発 09:50 福岡⇒上海⇒大連 15:45 大連着 【夕食】中華ビッフェ
2日目	21日(日)	▷アカシア祭り開幕式 ▷ウォーキング大会 ▷歓迎レセプション (大連市主催)	▷アカシア祭り開幕式 ▷ウォーキング大会 ▷歓迎レセプション (大連市主催)
3日目	22日(月)	▷30周年記念イベント ▷大連市内見学 (旧満州鉄道本社、労働公園、星海広場、老虎灘)	▷30周年記念イベント ▷西安に移動〔空路〕
4日目	23日(火)	09:00 ホテル発 11:40 大連⇒福岡 14:10 福岡着 17:00 伊万里着	▷西安市内見学 (兵馬俑、秦の始皇帝陵、興慶宮公園、陝西歴史博物館、大雁塔)
5日目	24日(水)		▷西安市内見学 (西門、青龍寺) 13:45 西安⇒上海⇒福岡 20:50 福岡着 22:30 伊万里着

①大連コース



労働公園

②大連・西安コース



大雁塔

兵馬俑

市長と語る『伊万里の夢』座談会を開催します

を主催します

皆さんの意見や提案などをこれからの市政運営に生かしていくため、市長が直接町に出向き、生の声を聴きます。また、夢や希望、アイデアなどについては、平成29年度から策定する『第6次伊万里市総合計画』の参考にします。

今後、市内各町で順次開催する予定です。ぜひ、ご参加ください。

※詳細は、随時、広報紙や市ホームページなどでお知らせします。

● 日時

3月15日(水)

午後7時～8時30分

● 場所 大川公民館

● 意見交換の主な内容

- ▽人口減少への対応・対策
- ▽若者が定住するまちづくり
- ▽女性が活躍するまちづくり
- ▽地域活動が活発なまちづくり
- ▽各町のまちづくりの実践事例
- ▽各町における課題 など

● 問合せ

情報広報課市民サービス係

(☎☎2133)

市観光大使に

キンタロー。さん（お笑い芸人）

市民のハートを
フライングゲット♡



2月4日、お笑い芸人のキンタロー。さんに伊万里市観光大使を委嘱しました。これは、社会の各分野で活躍する人に、伊万里の物産や歴史・文化、豊かな自然などを広く発信してもらい、誘客や観光振興につなげるために、平成25年1月に創設したもので、今回で5人目となります。



↑市内のダンス教室の子どもたちと一緒に『フライングゲット』を踊りました

キンタロー。さん

愛知県出身。社交ダンス講師やOLなどを経て、平成24年4月にお笑い芸人としてデビュー。テレビやラジオなどに数多く出演。平成27年に波多津町出身の男性と結婚したことが縁で、今回市観光大使に就任。35歳。

この日、会場となった市役所には、キンタロー。さんを目見ようと約300人が詰めかけました。AKB48の衣装で現れたキンタロー。さんは、塚部芳和市長から伊万里焼の陶板をあしらった委嘱状を受け取り、「すばらしい伊万里市を、私の顔のように広く伝えたい」と抱負を語りました。

地域に本を届け続ける

ぶつくん2号が

新しくなりました

2月3日、自動車図書館『新ぶつくん2号』の出発式がありました。これは、平成5年度から約23年間、市内各所を巡回して本を届け続けてきたぶつくん2号の老朽化に伴い、新しい車両に更新したものです。式では、大坪保育園の園児が役目を終えたぶつくん2号にお礼の言葉をかけ、手作りの花輪を贈りました。

新ぶつくん2号は、外観のピンクと水色の色調は引き継ぎ、いまりんもーもちゃん・もーもくんが車体に描かれています。購入費の1385万6400円はふるさと応援寄附金を活用。これからも市民に読書の楽しさを届け続けます。



↑大坪保育園の園児に見送られながら出発する新ぶつくん2号

減らそうごみ・生かそう資源 ~ ごみの減量化・資源化を推進しよう ~

● 問合せ先 環境課リサイクル推進係 (☎2145)

燃えないごみは正しく分別を

平成28年1月から、燃えないごみの分別区分を変更していますが、いまだに正しく分別できていないごみが多く見受けられます。

正しく分別できていないごみは収集することができません。適正にごみを出しましょう。

燃えないごみの分別区分

- ▷ 『黄袋』 空き缶、金属類、ガラス類、陶磁器類、複合素材
- ▷ 『赤袋』 ビン類のみ

※ コップや鏡などは、黄袋に入れてください。

※ ビン類(赤袋)は、ふたが付くようなガラス製容器のことです。



新たに3つの民間事業者と

『災害時応援協定』を締結



↑新たに協定を締結した事業者（3社）と塚部芳和市長（右から2人目）

2月6日、市役所で、『災害時応援協定』の締結式が行われました。この協定は、民間事業者の応援・協力のもと、災害発生時に、ドローンによる映像撮影や、地図を使った災害現場の特定などを、迅速かつ円滑に対応するために締結したものです。さらに、事業務へのドローンの活用や技術指導、住宅地図の提供など、平時においても連携・協力をするものとしています。

市は、平成28年11月に職員7人によるドローン研究チームを立ち上げており、目視では難しい地すべりの状況確認や、公共施設の点検などへのドローンの活用を検討しています。

協定締結事業者・応援内容

- ▽株式会社富士建（佐賀市）
- ▽株式会社島内エンジニア（佐賀市）

【災害時】ドローンによる映像撮影や物資輸送業務

【平時】市役所業務へのドローンの活用や、ドローン操作技術などに係る指導・助言

▽株式会社ゼンリン（福岡市）

【災害時】地図製品（住宅地図、広域地図、電子地図利用ID）の供給

【平時】住宅地図（5冊）・広域地図（5部）電子地図利用ID（IID）の無償提供

川口さんが市のまちづくりに寄付

2月7日、武雄市の川口喜三郎さん（株式会社サクセス社長）が、まちづくりのために使ってほしいと、市に100万円を寄付しました。

同社の寄付は、今回で6回目。これまで、甲子園プロジェクト推進事業や、家読、ブックスタートなどの子どもの読

書活動推進事業、体育施設ゲートボール場のトイレを改修する高齢者福祉事業など、多くの事業に活用しています。

目録を受け取った塚部芳和市長は、「この寄付金は、子どもたちの家読推進事業や市内の防犯灯設置事業などに役立てたい」とお礼を述べました。



↑塚部市長（右）に、「まちづくりに使ってほしい」と目録を渡す川口さん夫婦

市長雑感

伊万里市長 塚部芳和

30・10運動

戦中戦後の食糧難の時代、多くの日本人は『ひもじい』思いをしたのではないでしょう。私が子どもの頃は、腹が減って「ひだるか」とよく言っていました。高度経済成長とともに食糧事情も良くなり、今ではそんな言葉も耳になくなりました。

しかし、世界をみれば今もなお多くの人が飢餓に苦しんでいます。特に開発途上国で、栄養不足により命を落とす5歳前の子どもは、毎年310万人といわれています。一方、日本は、いわゆる食糧不足の時代から飽食の時代へと、今や大きく様変わりしています。例えば宴会の席で、店自慢の料理がずらりと並んでいるのに、最初に少し箸をつけるだけで、あとは食事そっこので隣同士や席を移動して話し込んでいます。その結果、大量の食べ残しを、多くの人が目にしたことがあ

ると思います。まさに「もったいない」のひとつです。料理人の立場になれば、一生懸命手塩にかけて作った料理が捨てられるのは耐え難いと思います。また、その料理には相応の料金を支払っています。大切な食べ物をむだに捨てることは、もったいないだけでなく、ごみの排出量を増やすなど、環境負荷を増大させます。

この悪循環を無くすため、市は『30・10運動』に取り組むことにしました。平成23年に長野県松本市で始まり、今では全国的に推奨するところが増えています。これは、宴会の開始から30分と、お開きの10分前には席について食事を楽しみましょうというもの。その効果を上げるためには、市民の皆さんが率先して取り組んでいただくことが何よりも肝心だと思います。『食品ロスをなくそう誰でもできる30・10運動』。皆さん始めてみませんか。

みんなで
考えよう
人権・同和問題
No. 227

外国人も日本人も

東日本大震災の直後、被災地では「外国人による犯罪が横行している」というデマが流れ、住民の多くがそれを信じたといえます。ある調査によると、うわさを聞いた住民のうち8割以上の人が事実だと思いついてしまったとのことでした。歴史的に見ても、大災害などの混乱時には外国人犯罪のデマが生じるケースが多く、大正時代に発生した関東大震災では、「井戸に毒を入れた」というデマを信じた人々が、多数の外国人を虐殺

このコーナーは、隔月のシリーズで掲載しています。これを手がかりに、家庭で人権・同和問題について話し合ってみましょう。

したという痛ましい事件も起きています。もしかしたら私たちの心の中には、無意識ながら外国人に対する偏見が存在していて、冷静な判断ができない状況のとき、それが表面化するのかもしれない。

そのような中、昨年4月に大地震が発生した熊本県では、外国人との絆を感じさせる出来事がありました。人々を結びつけたのは、支援物資として提供された400食の『ハラル弁当』。豚肉やアルコールを使用しないなど、イスラム教の戒律にしたがって調理された弁当です。熊本市のホ

テルの料理支配人が支援を申し出たもので、イスラム圏からの留学生や労働者など多くの人に、とても喜ばれたとのことでした。食事に困っていた彼らが満たされたのは、胃袋だけではないはず。

外国人は、言葉の壁や習慣の違いなどから、災害時に的確な行動ができていくものではありません。熊本での出来事は、孤立しがちな外国人への支援の必要性にいち早く気づき、実際の行動に移したすばらしい事例ではないでしょうか。避難所では、イスラム圏の人たちがカレーなどを作り、多くの避難住民にふるまうたとも言われています。私たちは一人では生きていきません。多様な人々に支えられて生きていることを忘れずにいたいですね。

市社会教育研究大会が4年ぶりに開催

1月29日、立花公民館で『地域創生は、公民館から』をテーマに市社会教育研究大会が開催されました。『子どもを育てる地域創生』と題して上野景三さん(佐賀大学大学院教授)が講演し、子どもたちが戻ってこられる地域づくりの大切さを訴えました。そのあと、大

川内町・牧島地区・黒川町・二里町による『子ども伊万里塾』の実践発表があり、夏休みを活用したサマースクールの成果や課題などを報告しました。また、子ども観光ガイド育成講座に参加した児童たちが、大川内山や伊万里焼についてガイドを披露しました。



↑ 11回の講座を受講し、子ども観光ガイドとしての成果を発表する児童

郷土の文化財

● 問合先 生涯学習課文化財係
(☎ 23186)

伊万里地域の磁器の始まり(後編)

今回は、伊万里市内の旧唐津藩領(波多津町・黒川町・南波多町・大川町)での磁器生産の始まりを紹介します。

唐津藩での磁器生産という少し想像しにくいかもしれませんが、大川町にある梅坂窯跡と東田代筒江窯跡の発掘調査で、磁器を生産していたことが確認されています。1610年代〜1630年代の頃です。この二つの窯跡では、もともと、甕(かめ)やすり鉢、皿などの陶器製品を焼成して、磁器製品も一緒に焼き始めました。

佐賀藩は、窯場の整理統合により、陶器と磁器を一緒に焼いていた窯を廃業させ、磁器のみを生産する窯を優先して保護しました。梅坂窯跡と東田代筒江窯

跡は唐津藩のため、この整理統合には影響されてはいはずなのに、磁器生産が短期間で終わっています。これは、唐津藩領内に磁器生産の原材料となる陶石が豊富に産出しなかったためと思われる。発掘された磁器片の断面を見ると、泉山の陶石を使った製品とは違うようです。唐津藩で磁器生産に使われた陶石はどこで採掘されたのか、まだ分かっていません。



↑ 窯跡から出土した磁器片
(上段) 梅坂窯跡、(下段) 筒江窯跡



みんなの広場

↓ペルーのダンスを踊るマリア・ヨシオカさん(前列左)



蹴まりのような中国の遊び『ジェンズ』



1.26



李 瑩さんが中国の文化などを紹介



ニュージーランド人のスティーヴン・ウィズフォードさん(中央左)と『ツイスターゲーム』を楽しむ児童たち

世界 国際交流ひろば 世界のことをもっと知ろう

山代西小学校で『国際交流ひろば』がありました。これは、子どもたちにさまざまな国の文化に慣れ親しみ、理解を深めてもらうことを目的に、市国際交流協会が開催したものです。この日は、中国とペルー、ニュージーランド出身の講師が自国の文化などを紹介した後、一緒にそれぞれの国のゲームをしたり、給食を食べたりして楽しみました。児童は、外国の学校のしくみや日本との違いなどの説明を、興味深そうに聞き入っていました。

地域 伊万里ケーブルテレビジョン株式会社創立 50 周年 地域に根ざした半世紀の歩み

伊万里ケーブルテレビジョン株式会社の創立 50 周年を記念した式典とアイまつりが、『感謝』をテーマに市民センターでありました。式典では、功労者表彰や 50 年のあゆみのビデオ上映などが行われ、キャラクターショーや抽選会、地場産品などを販売するにぎわいマルシェなどのイベントに約 2000 人が訪れ、にぎわっていました。



2.11

↑豪華景品が当たるおたのしみ抽選会は大盛況

↓優勝した東山代小学校 A チームの決勝戦の様子



1.21

神 『伊万里観光いろはかるた』市内小学校交流大会 経を研ぎ澄まし、いざ真剣勝負

市民センターで伊万里ロータリークラブ主催の『伊万里観光いろはかるた』第 10 回市内小学校交流大会がありました。この日は市内の 11 校から 19 チームが参加。大会に向けて積み重ねてきた練習の成果を競いました。保護者などが見守る中、児童たちは読み手の声に耳を澄ましながら真剣な表情で絵札を見つめ、素早い動きで取り合っていました。

このコーナーでは、あなたの周りの身近な出来事や話題を待っています。市役所情報広報課広報係までご連絡ください。(☎234313広報係直通)

第43回県民文化フォーラム 県全体の芸術文化の向上をめざして

市民センターで、『文化維新・佐賀をめざして・V～未来への扉～』をテーマに県民文化フォーラムがありました。岸屋佐多勝さん(市文化連盟副会長)や中村隆敏さん(佐賀大学芸術地域デザイン学部教授)など3人が、各人の芸術文化活動や思い、課題と打開策を報告。さらに、独自の視点で、今後の県の芸術文化の方向性について意見交換しました。



1.22

↑「PORTO 3316のように視点を変えては」と話す中村さん(右)

↓「読書会で意見を聞いて読み直すのも楽しい」と話す竜田さん



2.5

うちどく推進講演会 読書会に参加してみませんか

市民図書館で、うちどく推進講演会がありました。これは、家読をさらに広め、より深く理解してもらおうと市が開催したものです。講師の竜田徹さん(佐賀大学教育学部准教授)が、『ともだちや家族とひらく読書会』と題して講演。読書会の目的や方法について、自身の読書会の例を挙げながら、感じたことや読書の楽しみ方などを解説しました。

いすの木合唱団 15周年記念コンサート 美しい歌と詞で思い出をたどる

市民図書館で、いすの木合唱団 15周年記念コンサートがありました。団は、教科書から消え去りつつある懐かしい歌や美しい詞の歌を、図書館のイスノキの下で歌おうと平成13年6月に誕生。以来練習を重ね、主に図書館の行事に合わせて活動しています。この日訪れた大勢の客は、懐かしく美しい詞の歌と思いの込められた歌声を楽しみました。



2.11

↑ホールに響く団員たちの美しい歌声に聞き入る観客

↓笑顔で作るマイエンザはさらに効果があるかも



2.6

大坪小学校6年生総合学習でマイエンザ作り 立つ鳥跡をピカピカにします

大坪小学校6年生(3クラス99人)が、総合学習の時間に講師の指導を受けて、環境に優しい微生物活性酵素マイエンザ作りに挑戦しました。自分たちが6年間過ごした学び舎に感謝を込めて、卒業する前に出来上がった液体を使い、窓やトイレなどを清掃する予定です。また、後輩のために、5月のプール掃除にも使ってもらおう計画です。

ほがらがが ページ

百寿メダル贈呈 ついでにお元気で

めでたく百歳の誕生日を迎えられた久保田イトさんを、1月23日、塚部芳和市長が訪問し、記念のメダルを贈呈しました。

イトさんは、若い頃から長年農業に従事されていて、米や麦、葉タバコなどを作っていたそうです。また、戦時中は、松浦から黒川まで出かけ



久保田イトさん
(松浦町久良木)

て行き、塩たきの仕事もしていたとか。きちょうめんですっかり者というイトさん。90歳頃まで縫い物や縫い物もしていたそうで、ミシンも使いこなす器用な一面も。得意料理は、煮物をはじめ和食全般で、地域の祭りのときなどに作る饅頭(まんじゅう)はとておいしかったそうです。また、少し

前まではゲートボールも楽しんでたとか。外が好きて、天気が良い日には、庭の草むしりをするというイトさんの長生きの秘訣は、『好き嫌はなく、何でも食べる』です。この日、塚部市長にメダルをかけてもらうと、うれしそうに微笑んでおられました。

市内の保育園などで豆まき 節分行事で火災予防や 無病息災を祈願

2月2日と3日、市内の保育園や幼稚園で、伊万里市有田消防組合の職員と園児たちが、節分の豆まきをしました。これは、幼少期から防火意識を高めてもらおうと、同組合が毎年実施しているものです。



↑キユートくんと一緒に鬼たちに紙のボールを投げる波多津東幼稚園児たち

3日、波多津東幼稚園に、消防北分署の職員が扮する2匹の『火遊び鬼』が出没しました。園児たちは、突然現れた鬼たちに驚き、泣きながら先生にしがみついたり、逃げ回ったりしていました。しかし、消防の防火キャラクター『キユートくん』の応援を受けて思い直した園児たちは、みんな声掛け合いながら反撃。豆に見立てた丸めた新聞紙を力いっぱい鬼たちに投げつけて、見事に鬼たちをこらしめることができました。そのあと、心を入れ替えた鬼たちは、園児たちとすつかり仲良くなりました。

また、この日、伊万里神社



↑集まった多くの観客に、豪快に豆をまく酉年生まれの皆さん

では、伊万里神社節分祭実行委員会による恒例の節分祭が開催されました。神社の本殿前には、園児から高齢者まで多くの人が参集。今年の干支・酉年生まれの人たちが、「福は内」と言いながら豆を投げ、参加した人たちの1年の無病息災を祈りました。そのあと、豪華賞品が当たる福引抽選会が行われ、にぎやかな節分の1日となりました。

四季の詩

未来へとみな瓜立ちて卒業歌

一人傘に身を寄せ若きが雨をゆく

大き傘さす吾を追ひこし

伊万里白露短歌会

馬渡 英子

伊万里ホトトギス會 萩原 豊彦



みんなで広げよう『食のまちづくりの輪』

市は、食のまちづくり宣言を行い、事業者や皆さんと協働で、『食』を生かしたまちづくりに取り組んでいます。このコーナーでは、市内保育園などで取り組んでいる食育活動を紹介します。

● 問合先 まちづくり課まちづくり推進係 (☎☎2114)

食育活動を紹介

～ 牧島保育園 ～

保護者と一緒に楽しいひととき

保育参観日とピザ作り

園では、保育参観日に保護者と子どもが一緒に給食を食べています。1月28日の保育参観日では、子どもたちの食べる様子が家庭と違うことに驚いたり、感動したりして、みんなが笑顔のひとときを過ごしました。



みんなで食べる給食はおいしいね



思い思いのピザを作りました

また、2月10日にピザ作りに挑戦しました。手作りの生地を伸ばし、ソースを塗っているいろいろな具材をトッピング。具材が生地からはみ出したり、タワーのように積み上げたりする子もいて、みんな楽しそうでした。野菜をたっぷり入れたピザの焼き上がりは、まるでパン屋さんで焼いたもののよう。大きな口をあけてガブリ、あっという間に食べ終わりました。年長組は、園最後の心に残る行事になりました。園での給食や食育の取り組みを家庭へ発信し、連携していくことで子どもたちの『豊かな心』と『生きる力』が大きく育つことを願っています。

食育ワンポイント

朝食にアツアツのピザはいかが 朝食があまり入らないという若い人にもお勧めなのが、熱々のピザ。ピザ生地に使う小麦粉には、パワーの元となる炭水化物と良質な植物性タンパク質が含まれています。また、ソースに使うトマトはビタミンが豊富に含まれる野菜。チーズは良質な動物性タンパク質と吸収率の良いカルシウムがたっぷりです。朝食にピザを食べるだけでもバランスの良い栄養補給が出来ると言えます。

伊万里の

やんぐ・ウォーカー

川久保 理恵 さん

(39歳・山代町久原三区)

◆ ヘアスタジオJ AM (木須町)

◆ 平成24年7月入社



◇ いろんな仕事をしていますか
美容師

◇ 仕事で心掛けていることは
お客様に笑顔で帰って頂けるような接客です

◇ 目標(仕事)は
まだ苦手なこともあるので、それを一つ一つしっかりと勉強していくことです

◇ 自己PRをしてください
メンズヘアは特に自信あり！お任せください。

◇ 趣味
カフェ巡りと買い物

◇ 市民へ一言
皆さんの笑顔を引き出せる仕事を心掛けてこれからも頑張ります

わが家の

アルバム

うの
大江 羽乃さん (3歳9か月)

★ 繁・美穂さんの長女

★ 東円蔵寺



おかあさんからひとこと



ママのお手伝いをしてくれてありがと♪うのちゃんの歌とダンスが大好きだよ♥4月から幼稚園、元気に頑張ろうね(^^)

わたしはダンスやかけっこが大好き♥最近ではデイズニプリンセスごっこやお店屋さんごっこにも夢中なの♪好きな食べ物はいスクリーム☆ひょうきんなことをしてみんなを笑顔にするのも得意だよ♪



第70回記念 東西松浦駅伝大会



SUMCO伊万里2位 惜しくも連覇ならず

2月5日、冬の松浦路を舞台に健脚を競う『東西松浦駅伝大会』が、有田町東庁舎から唐津神社までの8区間59・8キロで開催されました。前半は、前回2位の鏡体協が一度も首位を譲ることのない安定した走りで行った。SUMCO伊万里は、出足で苦戦しながらも3区で土田将太選手が6位から2位に順位を上げ、最終的に3分33秒差の2位で前半を終えました。後半は、7区の永益邦弘選手が区間賞の走りです。選手に立つと、8区梅田諒承選手も区間2位のタイムでつないでそのままゴール。しかし、1分51秒差

【総合成績】 ※ 網掛け・太字は市内のチーム

順位	チーム名	記録
1	鏡体協	3時間18分35秒
2	SUMCO伊万里	3時間20分17秒
3	七山体協	3時間26分27秒
4	伊万里中校区体協	3時間26分30秒
5	有田町体協	3時間29分46秒
6	玄海町体協	3時間29分51秒
7	啓成中校区体協	3時間30分03秒
8	青嶺中校区体協	3時間30分49秒
9	大川町体協	3時間31分07秒
10	唐津市消防本部	3時間32分25秒
11	山代町体協	3時間34分55秒
12	二里町体協	3時間36分16秒
13	伊万里・有田消防本部	3時間37分00秒
14	伊万里市役所	3時間38分11秒
15	鬼塚地区体協	3時間39分00秒
16	浜玉町体協	3時間43分09秒
17	唐津市役所	3時間43分53秒
18	唐津中部体協	3時間50分42秒
	伊万里・西松浦地区選抜	3時間28分10秒
	唐津・東松浦地区選抜	3時間37分16秒

【区間賞】 ※ 市内チームの選手のみ

区間	選手名
4区 (7.9*区)	山口 翔馬 (啓成中校区体協)
5区 (9.0*区)	古賀 隆徳 (山代町体協)
6区 (6.8*区)	草野 建 (伊万里・西松浦地区選抜)
7区 (6.8*区)	永益 邦弘 (SUMCO伊万里)

- 【躍進賞】 山代町体協
- 【敢闘賞】 二里町体協
- 【新人賞】 中里 祥太郎 (啓成中校区体協)
田中 太将 (伊万里中校区体協)

で鏡体協が2位に入り、前半のタイム差を逆転するまでには至らず、総合2位となりました。鏡体協は、2年ぶり3度目の優勝を、大会新記録で飾りました。

→ 4区の区間賞を獲得した山口翔馬選手



→ 6区の区間賞を獲得した草野建選手(左)



→ 新人賞を獲得した田中



3月の町民スポーツ

5日(日)

- 東山代町民ニュースポーツ大会
午前8時30分開会 国見中学校
- 秘窯の里ふれあいウォーキング
午前9時50分開会 大川内町内

9日(木)

- 大川町民スポーツの日
(ペタンク・ニチレクボール)
午後7時開会 大川運動広場ほか

26日(日)

- 波多津ウォーク2017
午前8時30分開会 波多津町内

3月の市民スポーツ

12日(日)

- 市長杯争奪グラウンド・ゴルフ大会
団体戦
午前8時30分開会
国見台陸上競技場ほか
- 市長旗争奪各町対抗卓球大会・ラージボール大会
午前9時開会 国見台体育館

20日(月・祝)

- 伊万里スプリングスポーツデー
▷ 伊万里さわやかスポーツ・レクリエーション祭
午前8時30分開会
国見台体育館ほか
- ▷ 伊万里っ子・キッズスポーツフェスティバル
午前9時開会 国見台陸上競技場

→ 後半戦をトップでゴールするSUMCO伊万里の梅田諒承選手



↑ 来年の大会に向けて、優勝奪還への決意を新たにするSUMCO伊万里(写真はSUMCO伊万里陸上部提供)



守備での捕球の姿勢についての指導



股関節を柔らかくするためのウォーミングアップの指導



西部ガス硬式野球部が指導

伊万里ガス株式会社 第4回 中学生野球教室



真剣な表情で選手の指導に耳を傾ける生徒(右)

2月4日、国見台野球場で『伊万里ガス株式会社 中学生野球教室』がありました。この日は、伊万里市と有田町の中学校野球部8チームから93人が参加。九州でも屈指の強豪チームである西部ガス硬式野球部の選手やコーチから指導を受けました。始めに行われたウォーミングアップ指導では、小池俊児コーチが股関節の柔軟性を高めることの重要性を分かりやすく解説。続いて選手たちによるデモンストレーションが行われた後、守備や打撃、投球練習などそれぞれのポジションに分かれての指導が行われました。中学生は教えられたポイントを意識しながら、真剣に取り組んでいました。



ロープ・ジャンプ



しっぽとりゲーム

1月22日、立花小学校で市教育長杯小学生スポーツ・チャレンジ・ゲームがありました。この日は、市内の5校から79人が参加。しっぽとりゲーム、アジャタ100、ロープ・ジャンプの3種目で熱戦を繰り広げました。なお、総合の部では二里小学校が優勝を飾りました。



アジャタ100



第47回市スポーツ少年団 剣道交流大会

● 期 日 2月12日(日)
● 場 所 啓成中学校

《団体戦》

- ▽ 基本競演(低学年) 優勝 明星館
- ▽ 準優勝 無尽館
- ▽ 3位 黒川少剣、赤門館
- ▽ 基本競演(高学年) 優勝 明星館
- ▽ 準優勝 明星館
- ▽ 3位 松武館、済美館



応援にも熱が入ります

- ▽ 準優勝 無尽館
- ▽ 3位 赤門館、明星館
- ◆ 試合(高学年) 優勝 明星館
- ▽ 準優勝 済美館
- ▽ 3位 錬心館、赤門館
- 《個人戦》
- ▽ 男子(1・2年) 優勝 川久保悠聖(錬心館)
- ▽ 準優勝 林 俊亮(錬心館)
- ▽ 3位 坂田瑛斗(久原剣道)
- 山本貴大(久原剣道)
- ▽ 男子(3・4年) 優勝 渡邊凜太郎
- ▽ 準優勝 津上嵩矢(済美館)
- ▽ 3位 前田空透(黒川少剣)
- 中尾優伸(明星館)
- ▽ 男子(5・6年) 優勝 田中翔大(明星館)
- ▽ 準優勝 益田幸輝(済美館)
- ▽ 3位 中村将太郎(赤門館)
- 平谷 圭(赤門館)
- ▽ 女子(1・4年) 優勝 土井美季(済美館)
- ▽ 準優勝 田中優香(明星館)
- ▽ 3位 牧瀬由夏子(済美館)
- 中村友乃(済美館)
- ▽ 女子(5・6年) 優勝 力武千響(赤門館)
- ▽ 準優勝 田中奈央佳
- ▽ 3位 林 理子(錬心館)
- 吉田愛花(明星館)

お知らせ

固定資産縦覧帳簿の縦覧・課税台帳の縦覧

固定資産税の納税者は、平成29年度の土地価格等縦覧帳簿および家屋価格等縦覧帳簿の縦覧ができます。また、納税義務者は、固定資産課税台帳（名寄帳）の縦覧ができます。運転免許証など本人確認ができるものと印鑑を持参してください。なお、代理の場合には委任状が必要です。

● 縦覧期間
4月1日（土）～
6月30日（金）

● 縦覧期間

4月1日（土）から随時
※土・日曜日、祝日は除く。

ただし、4月1日（土）・2日（日）は縦覧できません。

● 時間
午前8時30分～
午後5時15分

※4月1日・2日は、午後1時～5時

● 手数料 縦覧期間中は無料

● 場所・問合先 税務課固定資産税係
☎2149

子育て支援センターに遊びにきませんか

子育てに関する悩みや相談を受けています。一人で悩まず気軽に相談してください。

①つくしんぼランド（要申込）

就園前の乳幼児とその保護者が集い、歌や簡単な製作などを行います

- 日時 3月15日（水）
午前10時～正午
- 場所 市民センター



②お誕生会（要申込）

3月生まれの乳幼児とその保護者

- 日時 3月22日（水）
午前10時30分～正午
- 場所 子育て支援センターぼっぼ

◆申込・問合先 子育て支援センターぼっぼ
☎5197

「えせ同和行為」に注意

『えせ同和行為』とは、同和問題を口実に企業や個人などに、不当な要求や、高額な図書などの購入を強要する行為をいいます。これは、『同和問題は怖い問題である』という誤った意識を植え付け、差別や偏見を助長するものです。不当な要求には、きざんとした態度で断ることが大切です。また、高額な図書などの購入を強要されたときは、慌てず、必要性を判断し、不要な場合は、はっきりと意思表示をしましょう。

● 相談・問合先
▽佐賀地方務局伊万里支局
☎22492
▽人権・同和对策課
☎22190
▽伊万里市消費生活センター
☎22136

手をつなぐ育成会研修講演会

障害のある人とその家族のための福祉制度や支援システムについて、講師が分かりやすく解説します。

- 日時
3月12日（日）

パブリックコメントの結果

『伊万里市犯罪被害者等支援条例』（案）に対する意見募集の結果、意見の提出はありませんでした。

● 問合先

人権・同和对策課人権・同和对策係
☎22190

▽講演

午前10時20分～

午後0時20分

▽講師との交流会

午後0時30分～2時

● 場所 市民図書館

※ホールに入れない人の預かり支援をします。事前に連絡してください。

● 講師

又村あおいさん

（神奈川県平塚市職員。平成26年度から内閣府「障害者施策・障害者制度改革担当」に出向中）

● 参加料 500円

※資料・交流会昼食代として

● 問合先

市手をつなぐ育成会研修会事務局
☎1353

広告

ホワイトデー

女性に喜ばれるとっておきの人気スイーツをどうぞ

純生シフォン
純生クリームのお溶けとふわっと生地のシフォン!

シフォンケーキ
しっとりふわふわで人気!

ちょこまる
チョコが入ったやわらかクッキー

ほろほろクッキー
和生チョコ

チーズブッセ
蒸焼チーズと生クリームをチーズ生地で作る。

心がウキウキ♡

春スイーツ

お彼岸

3/17(金)～23(木)
5色おはぎ

伊万里 菓子舗 城月堂
☎0955-22-5813
伊万里市新天町 475-12

営業時間 9:00～19:00

農家民泊体験会

農家民泊を始めてみませんか

農家民泊を始めてみたいと考えている人のための農家民泊体験会を開催します。農家民泊の取り組みに興味はあるけど、どんなことをするのか分からない、できるかどうか心配といった不安や疑問について、実践者と話してみませんか。

- 対象 市内在住で、農家民泊に取り組んでみようと考えている人
- 日時 3月25日(土) 午後4時～
26日(日) 午前10時
- 場所 民泊先集合
- 参加料 無料
- 募集期間 3月10日(金)～17日(金)
- 募集人数 15人(先着順)
- 応募・問合せ先 観光課グリーン・ツーリズム係
(☎☎②2110)



● 募集期間 3月17日(金)

● 応募・問合せ先 波多津公民館
(☎☎②50001、
FAX②51140)

● メールアドレス hatatsuki@city.imari.lg.jp

- 募集人数 40人(先着順)
- 応募・問合せ先 脇野やか隊・山口
(☎☎090-4774-4558)
- ▽ 展示物観覧について・浦川
(☎☎090-3737-2746)
- 募集期間 3月10日(金)～20日(月・祝)
- 募集方法 電話
- 参加料(当日徴収) 2000円(小学生以上)
- 昼食代や資料代、保険料などを含みます。

ぼしゅう

料理教室・粘土教室の受講者

- 対象 市内在住の女性
- 開催期間 6月～11月の第1水曜日(全6回)
- ▽ 料理教室(健康家庭料理)
- ▽ 粘土教室
- 時間 午前9時30分～正午
- 4月～平成30年3月の第2金曜日(全12回)

波多津ウォーク参加者

- 場所 同和教育集会所
- 受講料 無料
- 募集期間 3月31日(金)
- 応募・問合せ先 同和教育集会所
(☎☎7462)
- 日時 3月26日(日) 午前8時30分
- 集合場所・スタート・ゴール 波多津ふれあい広場
- コース(10km)など 国の重要有形文化財「田嶋神社」→花桃の「あぐり山」→桜の「高尾山」→「波多津漁港」
- 参加料(当日徴収) 500円
- 一般 1000円
- 中学生以下 1000円
- 保険料を含みます。
- 全員に参加賞があります。
- 応募方法 ファックスまたはメール
- 参加申込書は、波多津公民館に備え付けています。市ホームページからダウンロードすることもできます。
- 募集期間 3月17日(金)
- 応募・問合せ先 波多津公民館
(☎☎②50001、
FAX②51140)

ふれあい脇野にきてみらん会参加者

- 日時 3月26日(日) 午前8時40分～午後3時
- 小雨の場合も決行します。
- 集合場所 脇野公民館
- 内容 徒歩で散策・脇野巡り(明星桜、白蛇山岩陰遺跡、宝積寺など)
- 県博物館・岩陰遺跡群の発掘物を宝積寺に展示(初公開)
- 26日午前9時～午後3時
- 参加者以外の人も自由に観覧できます(無料)。
- ▽ 産地野菜市(脇野産とれたて野菜の直売)
- ▽ ふれあいタイム(昼食・ビデオ鑑賞など)
- ▽ 餅つき体験交流
- 参加料(当日徴収) 2000円(小学生以上)
- 昼食代や資料代、保険料などを含みます。

伊万里立花の杜③

オール電化・エコキュート付き、全室照明付き、浴室乾燥機付き、植栽付き、タンクレストイレ、鏡面内収納、食洗機付き、対面キッチン、建物10年保証、地盤20年保証、シロアリ10年保証、すまい給付金対応住宅

ご見学予約お待ちしております

地図QR→

株式会社アルファホーム(仲介)

tel. 0952-82-3620

株式会社アルファホーム(仲介)
株島郡大町大字福母1578-1
MAIL: office2@alpha2001.jp
URL: http://www.alpha2001.jp
佐賀県知事免許(3)第2166号
(公社)全日本不動産協会佐賀本部
(公社)不動産保証協会佐賀県本部会員
物件価格値入、佐賀銀行、35年払い、
10年固定、金利0.80%、平成29年2月時点計算
広告有効期限:平成29年3月末

明るいデザインに
仕上げています★

月々のお支払い例

61,438円

伊万里市立花町
土地面積: 228.73㎡(69.19坪)
建物面積: 105.97㎡(32.05坪)
間取り: 4LDK+WIC
築年月: 平成28年11月完成
駐車: 4台
構造: 木造2階建て
土地建物価格: 2250万円

物件ページ

ぼしゅつ

職業訓練受講生
(6か月コース)

● 募集訓練科・人数

▽CAD/NCオペレーション科 15人

▽板金・溶接施工科 15人

▽住環境CAD科 24人

● 訓練期間

6月2日(金)～

11月28日(火)

● 場所

ポリテクセンター佐賀

※毎月『オープンキャンパス』を実施中。平日は、施設を見学できます(無料)。

● 受講料 無料

● 応募資格

新たな職業に就こうとする人で、受講意欲があり、公共職業安定所長から受講指示または推薦を受けた人

● 募集期間

4月3日(月)～28日(金)

● 筆記試験・面接日

5月10日(水)

● 応募先

ハローワーク伊万里

● 問合せ

ポリテクセンター佐賀

(☎0952269516)

カウンセリング
公開講座受講生

● 対象

20歳以上で、電話相談員を志す人やカウンセリングを学びたい人、各種相談業務に携わっている人など

※相談員にならなくても受講できます。

● 講座期間(週1回、全12回)

▽水曜日(毎週水曜日)

5月10日(水)～

7月26日(水)

※午後7時～9時

▽土曜日(毎週土曜日)

5月13日(土)～

7月29日(土)

※午後2時～4時

● 場所

▽水曜日

アバンセ(佐賀市)

▽土曜日

メイトプラザ佐賀(佐賀市)

● 内容

自己を見つめ、他者を理解するカウンセリングの基礎

● 受講料 1万5000円

※学生は、1万円

● 募集期間

4月28日(金)

● 応募・問合せ

社会福祉法人佐賀いのちの電話

(☎095224186)

特別養護老人ホームくにみの職員を募集します

■ 受付期間 3月1日(水)～17日(金)
(土・日曜日を除く午前8時30分～午後5時15分)
※ 郵送の場合は、3月17日の消印のあるものまで有効です。

■ 試験日 3月27日(月)

■ 試験会場 特別養護老人ホームくにみ

■ 試験内容 作文、面接

■ 採用試験区分・採用予定人数・受験資格

■ 職務内容

特別養護老人ホームくにみで介護業務に従事

■ 申込・試験案内の請求・問合せ先

〒849-4153

有田町立部乙2460番地

伊万里・有田地区特別養護老人ホームくにみ

(☎464181)

試験区分	予定人数	年齢制限	その他の受験資格
介護職	若干人	平成元年4月2日以降に生まれた人	ヘルパー2級以上もしくは介護福祉士の資格取得者、または資格取得見込みの人

協会けんぽ 佐賀支部 加入者の皆様へ 保険料率が改定されます

	《現行》	《新料率》
健康保険料率	10.33%	10.47%
介護保険料率	1.58%	1.65%

改定時期

- 平成29年3月分～(平成29年4月納付分)
- 任意継続被保険者の方は平成29年4月分(4月納付分)～

お問合せ 全国健康保険協会(協会けんぽ)佐賀支部 〒840-8560 佐賀市駅南本町6-4 佐賀中央第一生命ビル ☎0952-27-0612

3月の行事

市民センター ☎②3911

- 伊万里小学校コーラス部定期演奏会
5日(日)午後1時30分開演(☎③4128)

市民会館 ☎②7105

- 千昌夫・新沼謙治
～心響ふるさと共演～コンサート
16日(木)午後6時30分開演
(☎0956②2036)
- 伊万里高等学校吹奏楽部定期演奏会
20日(月・祝)午後2時開演(☎③3101)
- 伊万里中学校吹奏楽部定期演奏会
26日(日)午後1時30分開演
(☎③4158)

市民図書館 ☎③4646

- Saga Dish & Craft (☎③3475-7666)
▷ライブ巻き寿司アート〔ホール〕
4日(土)午後1時30分
- ▷Kanamono Art 作品展示〔展示コーナー〕
16日(木)～20日(月・祝)
- ▷Kanamono Art ワークショップ〔ホール〕
18日(土)午後1時(※有料、要予約)
- 北部九州のひなまつり〔企画展示室〕
15日(水)～31日(金)
- 子どもミニ上映会〔のぼりがまのおへや〕
19日(日)午後2時30分～3時15分
『まんが世界昔ばなし』みにくいあひるの子、
ハメルンの笛ふき ほか
※催し物は一部を除いて無料です。
- 3月の休館日
6日、13日、27日
23日(館内整理休館)
※20日(月・祝)は開館します。

3月の市民相談

相談窓口名	開設日	開設時間	開設場所	問合せ先
法律相談 ※要予約	第2・4水曜日 (8日・22日)	午前10時～ 午後3時	市民相談 コーナー	情報広報課 市民サービ ス係 ☎ ②2133
司法書士相談 ※要予約	第1木曜日 (2日)	午前10時～ 正午		
公証人相談 ※要予約	第3木曜日 (16日)	午前10時～ 午後3時		
人権相談	第1・3火曜日 (7日・21日)	午前10時～ 正午		
消費生活相談	月～金曜日 ※祝日は除く	午前10時～ 午後4時 ※正午～午後 1時を除く	市民相談 コーナー	一人でも ご相談ください
行政相談	第3金曜日 (17日)	午前9時～ 正午		
不動産相談	第2木曜日 (9日)	午前10時～ 午後3時		
家計相談 (ファイナンシャル プランナー相談) ※要予約	第2金・第4日 曜日 (10日・26日)	午前9時～ 午後4時	税務課	税務課 ③2152
年金相談 ※要予約	金曜日	午前9時30分～ 午後3時30分	面接室	唐津年金事 務所 0955 ⑦5161
身障者相談	第4木曜日 (23日)	午前10時～ 午後3時	面接室	福祉課社会 福祉係 ③2156
心の健康相談	月・火・木・金曜日 ※祝日は除く	午前9時～ 午後3時30分	福祉課社会 福祉係	③2156

- 女性相談 相談電話番号 ☎②6763
▷月・水・金曜日 午前9時～午後4時

確定申告時期の『還付金詐欺』に注意

確定申告の時期は、市役所や税務署の職員を名乗って還付金があるように装い、お金を振り込ませる『還付金詐欺』が増えるかもしれません。「お金が返ってくるのでATMに行くように」という話は、還付金詐欺です。このような電話がかかってきたら、また、少しでも不審なことがあれば、家族や警察、市役所に相談してください。

- 問合せ 伊万里市消費生活センター (☎③2136)

家庭で
できる!

今月の省エネと 地球温暖化対策

- 問合せ
環境課生活環境係(☎③2144)

電気カーペットの使い方を工夫しましょう

電気カーペットは足元を温めてくれる便利な暖房器具ですが、多くの電気を使います。3畳用を1日5時間使用する場合で、設定温度を『強』から『中』にすると年間で電気 185.97kWh の省エネ、約 5,020 円の節約になり、二酸化炭素 106 kg の削減になります。また、電気カーペットを床にじかに敷くと熱が逃げるので、断熱マットを下に敷いたり、必要な部分だけを暖めたりするなど、使い方を工夫すればさらに効果的です。

■参考：資源エネルギー庁のホームページ <http://www.enecho.meti.go.jp/>

広告

いいものを造り続けて135年

おぶつだんのしらかわは、お客様の真心を正確に受け止め、日本の伝統技術と白川独自の技術をアレンジし、お客様のイメージを形にするお手伝いを致します。

伊万里 うるし工房 しらかわ

伊万里市新天町462-6

お申し込み
お問い合わせ ☎(0955)23-5345





食のまちづくりフォーラム

2月5日、立花公民館で『食のまちづくりフォーラム』が開催されました。柴田真佑さん（大分県佐伯市まちづくり推進課）による食育講演会をはじめ、味わい物産展や健康コーナー、食育体験コーナーなど多彩な催しが行われ、多くの家族連れなどでにぎわいました。



「健康づくりは口から」と、しっかり噛むことや口の筋肉を動かすことの大切さを伝授する柴田さん



『食のまちづくり宣言文』を朗読する伊万里農林高等学校の松本 蘭さん(左)と池田千菜さん



栄養満点の豚汁をいただきます



紙芝居で食の循環について学習中



おいしいクッキーをどうぞ



栄養バランスのとれた食事ができているかな



健康コーナーで自分の体をチェック



人のうごき

平成 29 年 2 月 1 日 現在

- 人口 56,003 人 (－ 31)
 - 男 26,911 人 (－ 16)
 - 女 29,092 人 (－ 15)
 - 世帯 23,042 世帯 (－ 6)
- () は前月比

広報 伊万里 2017-3

- 発行日／平成 29 年 3 月 1 日
- 発行編集／伊万里市情報広報課広報係 (0955)23-4313 (直通)
- 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町 1355 番地 1
- 伊万里市のホームページ <http://www.city.imari.saga.jp/>
- 印刷／株式会社 三光

今年で70回を迎えた東西松浦駅伝。戦後の混乱期にあった昭和23年に始まったこの大会は、現存する駅伝大会で最古の箱根駅伝（93回）には及びませんが、全国的にみても歴史のある大会だそうです。今回取材で、スタートの有田町東片舎から各中継所などを回りました。そこで感じたのが、伊万里市民の駅伝に対する熱の入れよう。市内に入ったとたん、沿道には多くの観客が選手たちを応援しています。東西松浦駅伝の魅力は、地域に密着した大会だということにあると思います。自分の住む地区や勤務する事業所の知り合いの選手が一生懸命に走る姿は、胸に迫るものがあります。長きにわたって愛されてきた理由はそこにあるのではないかと思います。（祐）

編集室から